


# 歴史総合から探究へ

山川出版社の「歴史総合」は近現代の日本史・世界史を相互に関連付けながら、バランスよく記述しています。日本史・世界史それぞれの大きな流れや基本的事項を学習できるため、選択科目の日本史探究・世界史探究へとつながり、**通史的な視点からより深い「探究」の学習を進める**ことができます。



## 歴史総合


近代から現代へ

歴総707

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容。
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識。
- 歴史の着眼点となる問いかけを設定。

→p.20



## 現代の歴史総合


みる・読みとく・考える

歴総708

深める歴史  
テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習。
- 深い学び、考える授業の実現。
- グループワークに最適！ 主体的・対話的な学びも。

→p.30



## わたしたちの歴史

日本から世界へ

歴総709

見開き47テーマ  
ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ。
- 身近な歴史から世界をみる。
- 教えやすい学びやすいシンプルな構成。

→p.40

# 日本史探究とは

「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、**我が国の歴史の展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解**するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究**する科目です。

日本史探究



日探705

### 『詳説日本史』

詳しい内容と豊富な史資料  
信頼の教科書 →p.50



日探706

### 『高校日本史』

豊富な材料で楽しく学べる  
生徒が読んでわかる教科書 →p.60

# 世界史探究とは

「歴史総合」の学習で身に付けた資質・能力を基に、**世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解**するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究**する科目です。

世界史探究



世探704

### 『詳説世界史』

世界史の枠組みを体系的に学べる  
信頼の教科書 →p.70



世探705

### 『高校世界史』

基本をおさえて、資料で深める →p.82



世探706

### 『新世界史』

考える歴史の時代に向けて  
新しく生まれ変わった『新世界史』 →p.90

# 指導用資料のご紹介

## 教師用指導書「授業実践編」

- 各教科書の授業実践に活用いただける材料や史資料、解説を収録
- 授業準備や授業中に役立つデジタルコンテンツを収録した付属データDVD付き



## 教師用指導書「研究編」

- 各科目ごとの歴史事象やその背景、史資料の詳細な解説を収録
- ※デジタルコンテンツを収録した付属データDVDは付きません



## 教師用指導書「授業実践編」・教師用指導書「研究編」・「授業実践編」付属データ・指導者用デジタル教科書(教材)

### 「授業実践編」付属データ 収録コンテンツ一覧

分類	コンテンツ名	ファイル	歴総707	歴総708	歴総709	日探705	日探706	世探704	世探705	世探706
			『歴史総合』	『現代の歴史総合』	『わたしたちの歴史』	『詳説日本史』	『高校日本史』	『詳説世界史』	『高校世界史』	『新世界史』
準備業	教師用指導書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○
授業用教材	教科書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	授業用スライド	PowerPoint	○	○	○	○	○	○	○	○
	スライド対応ワークシート	Word		○	○	○	○	○	○	○
	授業用アニメーション動画	MP4			○					
教材作成	教科書本文テキスト	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載史料テキスト	Word				○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 カラー	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 モノクロ	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート本文テキスト	Word				○	○	○	○	○
	白地図集	JPEG		○		○	○	○	○	○
評価・テスト	準拠テスト例	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	年間指導計画・評価規準例	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○

### 指導用資料 定価一覧

教科書番号	商品名	税込価格
歴総707	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
歴総708	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	歴史総合 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	歴総707『歴史総合』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
歴総708『現代の歴史総合』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
歴総709『わたしたちの歴史』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
日探705	『詳説日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『高校日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	日本史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
日探705『詳説日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
日探706『高校日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
世探704	『詳説世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
世探705	『高校世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『新世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『新世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
世探706	『新世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	世界史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	世探704『詳説世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
世探705『高校世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
世探706『新世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

### 指導者用デジタル教科書(教材)

#### インストール版 【同一の学校建物内の指導者用端末に限りインストール数の制限なし】

- (インストール方法①) 各利用端末に直接インストールしてご利用ください。  
※端末インストール(スタンドアロン)はWindows PCのみの対応となります。
- (インストール方法②) DVD-ROMに収録されているデジタル教科書のデータを学校・教育委員会等に設置されているWebサーバーにアップロードのうえ、各利用端末からアクセスしてご利用ください。  
※ファイルサーバーは動作保障環境の対象外です。

#### クラウド版 【校内フリーライセンス】

- 弊社からライセンス証・学校管理者向けスタートガイドをお送りします。スタートガイドに沿って初期設定作業をしていただくことで、作業完了後、ライセンス証記載の利用開始日よりご利用いただけます。
- オンライン環境にて、各利用端末から弊社指定のクラウドサーバーへアクセスしてご利用ください。

# 「授業実践編」付属データを活用した

# 効率的な授業展開例

## 『わたしたちの歴史 歴経709』 授業展開例



### 1 導入 授業用アニメーション動画で学習のポイントを提示



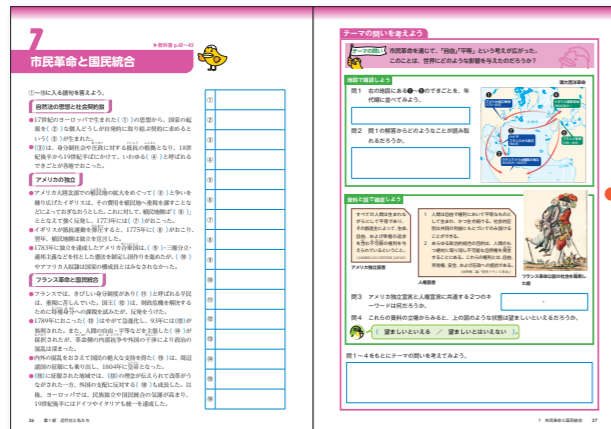
2~3分のアニメーション  
授業冒頭の導入に最適

### 2 展開 授業用スライドや教科書紙面PDFを活用して板書を省き、スムーズに進行



拡大表示にも対応した  
解像度

### 3 まとめ 準拠ノート紙面PDFでプリント教材の準備を削減



テーマの問いにも  
スムーズに取り組める  
わかりやすい構成

## 『高校世界史 世探705』 授業展開例

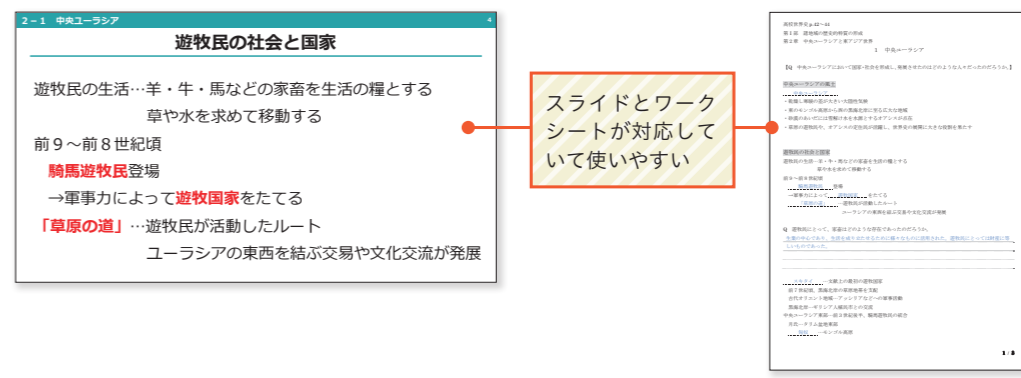


### 1 導入 教科書紙面PDFで写真や資料を大きく投影し、考察を促すきっかけに



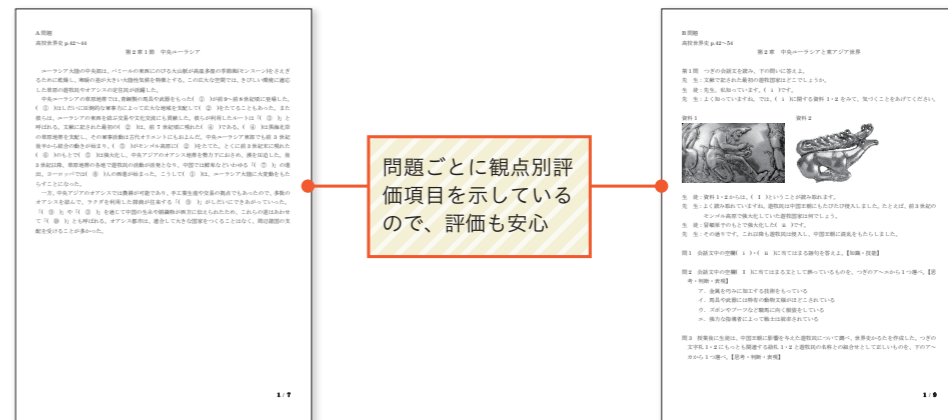
写真も含めた教科書紙面を  
そのまま収録

### 2 展開 授業用スライドと生徒用ワークシートで板書を省き、少ない時間数でもスムーズに授業を展開



スライドとワーク  
シートが対応して  
いて使いやすい

### 3 まとめ 観点別評価に対応した「準拠テスト例」で知識の定着を確認、資料を活用した読み解き問題も



問題ごとに観点別評  
価項目を示している  
ので、評価も安心

\ 「授業実践編」付属データの /

ご利用方法は **2** 通り をご用意しています。

データを利用する端末にDVDドライブが

**付いている**

DVDドライブ付き  
ノートPC

**付いていない**

DVDドライブ非搭載ノートPC、  
タブレットPCなど

**1** 『DVDディスク』から  
データをインポート

DVDディスクをドライブにセットし、  
データをPCにインポートしてご利用く  
ださい

**2** Webサイトから  
データをダウンロード

『山川&二宮ICTライブラリ』からデータ  
をダウンロードしてご利用ください

利用開始！

\ **3**ステップで完了！ /

Webサイトからのダウンロード手順



ダウンロード手順

- STEP 1** 山川&二宮 ICTライブラリ (<https://ywl.jp>) へアクセスしてください  
※または、検索ブラウザから「ICTライブラリ」で検索してサイトへアクセスしてください
  - STEP 2** トップバナーの[会員登録/ログイン]から会員登録(無料)してください  
※すでに会員登録がお済みの先生は、登録済みIDでログインしてください
  - STEP 3** ログイン後、右上の アイコンから [ライセンス管理] ページへ進み [ライセンス追加] をクリックし、画面の案内に従ってライセンスコードを入力してください  
認証に必要なライセンスコードは、付属DVDの盤面に記載された9桁の数字です  
※コードは半角数字でご入力ください
- ◎ ライセンス認証が完了したら、トップページ右上のマイライブラリ>マイコンテンツからデータをダウンロードしてご利用ください

山川&二宮ICTライブラリ

詳しい情報はこちらから





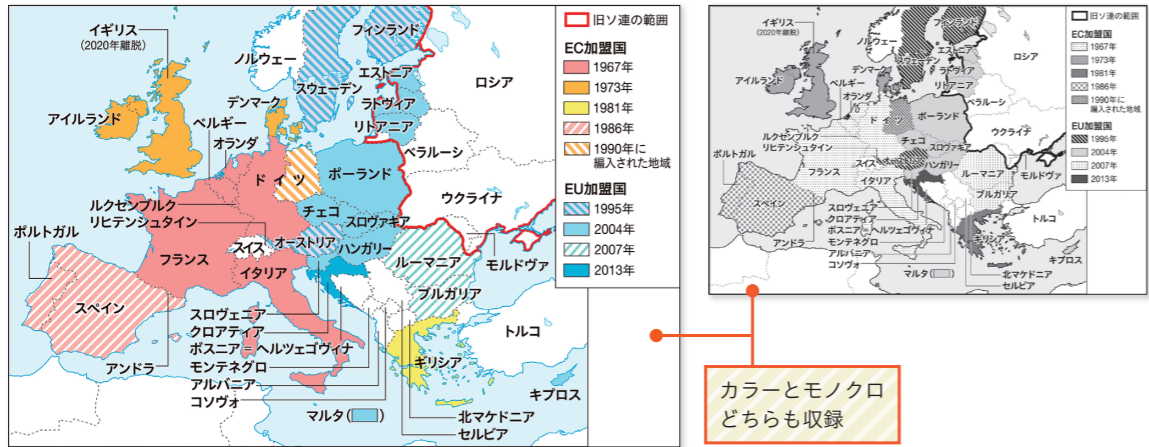
# 3 教科書掲載地図・図表・白地図集



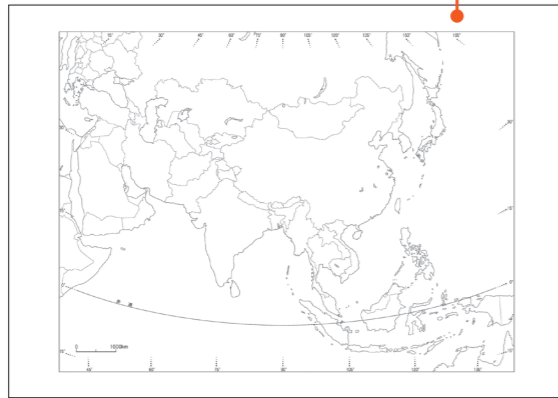
歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

※白地図集は「歴総707」「歴総709」には付きません

**Point** プリント教材や授業用スライド、テストの作成に！



プリント作成に便利な白地図も収録



# 4 教師用指導書紙面



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** タブレットやモバイルPCに入れていつでもどこでも参照できる

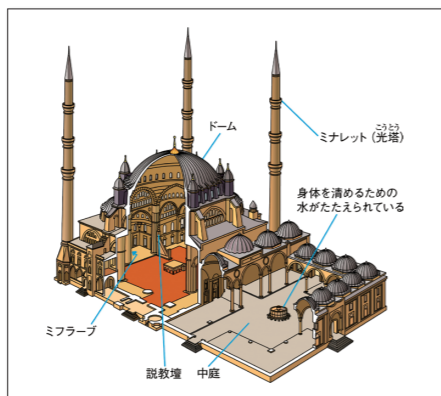
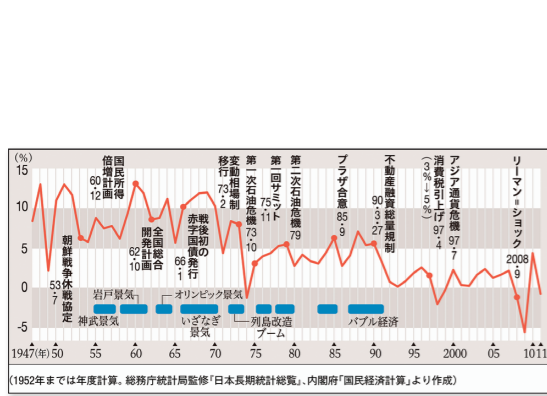
「高校日本史(日探706)」/教師用指導書紙面

# 5 教科書掲載問い・解答例一覧



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 教科書に掲載している「問い」と「解答」を一覧表で収録



章や節など単元ごとにソートしてスムーズに確認

問	問	問	問	問	問
18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29

「詳説世界史(世探704)」/教科書掲載問い・解答例一覧

# 6 教科書紙面



- 歴総 707
- 歴総 708
- 歴総 709
- 日探 705
- 日探 706
- 世探 704
- 世探 705
- 世探 706

授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 写真も含めて教科書紙面をそのまま収録!

写真や史料を大きく投影して  
考察を促すきっかけに

5 日本開国期の国際情勢

日本が開国した頃、世界各地で戦争や反乱がおきていた。このことは、日本にどのような影響を与えたのだろうか?

「西洋の権威」とアジア諸地域 18世紀半ばにイギリスで始まった産業革命は、19世紀末までには西ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国にもおよんだ。科学技術が発達し、軍力も高めた欧米諸国は、武力を背景にアジア諸地域へ進出していた。アジア諸地域は、欧米諸国の武力進出(「西洋の権威」(エスタブリッシュメント))に対して、欧米諸国をモデルに政治や軍事制度を改めようとした。

一方、列強の支配に対し、一般民衆も幅広い層の人々による抵抗運動がおこることもあった。たとえば、イギリスが進出したムガル帝国(インド)では、1857年にインド大反乱がおこった。

清ではアヘン戦争後、戦費や賠償金の負担が民衆の生活を苦しめ、社会不安が大きくなっていった。こうしたなか、キリスト教の独自の理解をもとにして、1851年に建てられた太平天国は、清に対して蜂起し大勢力となり、53年に南京を占領した。

一方、イギリスは南京占領後も中国貿易の利益が思ったほど上がらなかったため、1856年にフランスとともに第2次アヘン戦争をおこした。両国は60年に北京を占領して、清とあいに北京条約を結んだ。この条約で、清は外国公使の北京駐在、天津など11箇の開港、キリスト教布教の自由などを認めた。この間、太平天国は内訌の暴力争いから衰えはじめた。第2次アヘン戦争が終結すると、イギリスなどの列強は清を支持する方が自国に有利な状況をもたらすと考えるようになり、外国人を指導者として組織された常備軍が清に協力し、太平天国と戦った。1864年に太平天国が滅びたあと、清は西洋の学問や技術を導入し、富国強兵をめざすようになった(洋務運動)。

アメリカは、第2次アヘン戦争を理由として、日本に対し早く締結通商条約を締結するよう求めた。

クリミア戦争と南北戦争 18世紀以来、ロシアは冬でも凍らない港を求めて南下政策を進めており、1853年、オスマン帝国に侵襲した。イギリスは、ロシアの南下政策でインド支配がおびやかされることを警戒し、フランスとともにオスマン帝国を支援して、ロシアの南下を阻止した(クリミア戦争)。

クリミア戦争では極東地域でも戦闘がおこり、日本に開国を求めるロシア使節の行動はおさえられた。

アメリカでは、独立後も領土のあり方や経済政策、奴隷制度の拡大などをめぐって北部の州と南部の州の対立が続いていた。1860年に奴隷制度の存続をめざす南部の州はアメリカ合衆国から離脱し、61年、アメリカ連合国を結成した。リンカーンはアメリカの分裂を認めず、同年、南北戦争が勃発した。アメリカ史上もっとも戦死者が多かったとされる南北戦争は北部の勝利で終わり、戦後は国内の統一と整備が最優先課題となったため、アメリカのアジア進出は、一時消滅的になった。

5 日本開国期の国際情勢

「わたしたちの歴史(歴総709)」/教科書紙面

拡大表示も可能な  
解像度でご提供

章やテーマ単位で  
ファイル分割して  
いるのでスムーズ  
に表示できる

01\_東洋-目次-書籍資料.pdf

02\_歴史の扉-歴史の扉の扉.pdf

03\_第1部 近代化と私たち-近代化への問い.pdf

04\_第1部-10世紀の世界とアジア.pdf

05\_第1部-2 産業革命.pdf

06\_第1部-3 アヘン戦争.pdf

07\_第1部-4 日本の開港.pdf

08\_第1部-5 日本開国期の国際情勢.pdf

09\_第1部-6 開港後の日本社会.pdf

10\_第1部-7 市民革命と開港通商.pdf

11\_第1部-8 明治維新.pdf

12\_第1部-9 富強論と文明開化.pdf

13\_第1部-10 日本の明治初期の外交.pdf

14\_第1部-11 大日本帝国憲法の制定.pdf

15\_第1部-12 日本の産業革命と日清戦争.pdf

16\_第1部-13 産業主義.pdf

17\_第1部-14 日清戦争と韓国併合.pdf

18\_いばの私生活に学ぶ課題-自由-制限-対立-協調.pdf

19\_第1部-15 開港通商の文化や大衆化と私たち-開港通商の文化や大衆化への問い.pdf

20\_第1部-1 大衆運動の芽ばい.pdf

21\_第1部-2 第一次世界大戦.pdf

22\_第1部-3 第二次世界大戦と日本.pdf

23\_第1部-4 ロシア革命と日本の影響.pdf

24\_第1部-5 社会運動の広がり.pdf

25\_第1部-6 富強論.pdf

26\_第1部-7 アジアの民族運動.pdf

27\_第1部-8 大衆運動-大衆消費社会.pdf

28\_第1部-9 世界恐慌.pdf

29\_第1部-10 総戦力の台頭.pdf

30\_第1部-11 日本のアジア進出.pdf

31\_第1部-12 第二次世界大戦.pdf

32\_第1部-13 第二次世界大戦と日本.pdf

33\_第1部-14 第二次世界大戦の終結.pdf

34\_第1部-15 戦後復興秩序.pdf

35\_第1部-16 冷戦の始まり.pdf

36\_第1部-17 日本の戦後改革と日本国憲法.pdf

37\_第1部-18 日本の独立.pdf

38\_いばの私生活に学ぶ課題-統合-分化-平等-権威.pdf

39\_第1部-19 「文化と私たち」-グローバル化への問い.pdf

40\_第1部-1 第三世界の登場.pdf

41\_第1部-2 冷戦の固定化と「雷打」.pdf

42\_第1部-3 冷戦の展開.pdf

43\_第1部-4 55年体制と安保戦争.pdf

44\_第1部-5 高度経済成長の光と影.pdf

45\_第1部-6 バレーボールとアフリカ.pdf

46\_第1部-7 経済構造の変化.pdf

47\_第1部-8 日本の経済大躍進.pdf

48\_第1部-9 アジアの経済成長.pdf

49\_第1部-10 社会主義の停滞と新自由主義.pdf

50\_第1部-11 冷戦の終結.pdf

51\_第1部-12 冷戦後の地域紛争.pdf

52\_第1部-13 地域紛争.pdf

53\_第1部-14 現代世界の諸課題.pdf

54\_第1部-15 日本の諸課題.pdf

55\_用語解説.pdf

56\_参考文献-索引-後見書.pdf

# 7 授業用アニメーション動画



- 歴総 709

授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 2~3分のアニメーション動画で、学習内容のポイントを簡潔に提示

市民革命と国民統合 (p.42~p.43)

「サンプル動画」  
こちらから

授業冒頭の「導入」に最適

「問い」を軸にした  
授業展開に

市民革命と国民統合

このことは、世界にどのような影響を与えたのでしょうか?

市民革命と国民統合

② アメリカの独立

イギリス

フランス

植民地の拡大をめぐる争いを繰り返していたんだ

図式化した解説とアニメーションで理解しやすい

「わたしたちの歴史(歴総709)」/授業用アニメーション動画

# 8 授業用スライド



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 各単元に即した内容ですぐに授業をはじめられる

対応するワークシートも収録、スムーズに授業が展開できる

II-5-1 院政の始まり 後三条天皇の荘園整理

## 5 荘園公領制への移行

貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制(荘園公領制)に変化した。

【律令制】 国一郡一里(のち郷)

↓

【荘園公領制】 国一荘

}

郡(長: 郡司)

郷(長: 郷司)

保(長: 保司)

} 公領

荘園公領制のしくみ

「高校日本史(日探706)」/授業用スライド

PowerPointファイルなので加工も自由、オリジナルスライドのベースとしても使える

## 宗教改革と科学革命

### 1 宗教改革

カトリック教会への抗議の動きとして**プロテスタント**諸派が登場した一方で、**カトリック**の側でも改革の動きがおり、近世の西ヨーロッパでは全般的に宗教意識が高まった。

新教の広がり(1560年頃)

「歴史総合(歴総707)」/授業用スライド

# 9 スライド対応ワークシート



歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

※スライド対応ワークシートは「歴総707」には付きません

**Point** 授業用スライドに対応した生徒用ワークシート

プリント教材準備の負担を軽減

ワークシート  
高校日本史 p.60~66

## 第5章 院政と武士の進出

本日の学習課題  
中国で宋が、朝鮮半島で高麗がおり、日本では地方で武士が成長し、荘園が各地にうまれた。こうしたなかで摂関政治が衰退して院政が成立し、武士が台頭するが、それはなぜだろうか。

- 院政の始まり
  - ◆日本列島の大きな変化
  - 1 政治の転換
    - 11世紀後半、天皇家や摂関家・大寺社は税収が減少して財政が不安定になるなか、荘園の拡大をはかった。地方では豪族・開発領主が力をのばした。
  - 2 武士の成長と大陸との交通
    - 武士は貴族や大寺社と結びついて私領の拡大をはかり、源氏が奥州に勢力を広げた。九州では、日宋貿易の窓口である博多の周辺に、大寺社や上級貴族が進出した。
  - ◆後三条天皇の荘園整理
  - 3 後三条天皇の政治
    - 関白藤原頼通の娘には男子が生まれなかったため、藤原氏の娘を母としない後三条天皇が即位し、天皇は摂関家に遠慮することなく、国政の改革に取り組んだ。
  - 4 延久の荘園整理令
    - 1069年、天皇は荘園が公領を圧迫するとして( **荘園整理令** )を出し、( **記録荘園券契所** )(記録所)を設けて証拠書類のそろわない荘園などの停止を命じた。
  - 5 荘園公領制への移行
    - 貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制( **荘園公領制** )に変化した。
    - 【律令制】 国一郡一里(のち郷) 荘園
    - 【荘園公領制】 国一荘
 

}

郡(長: 郡司)

郷(長: 郷司)

保(長: 保司)

} 公領
  - ◆院政の成立と展開
  - 6 前九年合戦
    - 陸奥北部の豪族安倍氏と国司が対立すると、陸奥守の源頼義が子の義家と東国の武士をひきいて安倍氏と戦い、出羽の清原氏のたすけを得て安倍氏をほろぼした( **前九年合戦** )。

1 / 5

「高校日本史(日探706)」/スライド対応ワークシート



# 10 準拠テスト例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 観点別評価に対応！知識確認から思考力・判断力・表現力の養成まで

A問題  
高校日本史 p.178~190

第12章 近代国家の成立

問 つぎの文章を読んで、空欄に適切な語句を答えよ。【知識・技能】

1 明治維新  
中央集権体制をつくるために1869年、新政府は諸藩の藩主に( ㉠ )を命令した。さらに新政府は体制を一新するため藩制度を全廃する方針を定め、1871年、薩摩・長州・土佐の3藩の兵を御親兵として、( ㉡ )を断行した。また、中央政府の制度もとのえられ、要職はほとんど薩摩・長州・土佐・肥前の4藩出身の実力者が占められた。ここに、のちに( ㉢ )とよばれる政権の基礎がほぼ固まった。政府は近代的軍隊を創設するため、1873年、山県有朋の主導で国民皆兵をめざす( ㉣ )を出した。社会制度では新政府はいわゆる四民平等を実現し、1872年には全国統一的な戸籍である( ㉤ )がつけられた。社会制度の改革で、もっとも打撃を受けたのは士族たちであった。廃刀令が出され、1876年には数百年の家禄にあたる金禄公債証券をあたえて、家禄をすべて廃止した( ㉥ )が断行された。この結果、わずかな額の公債しか支給されなかった下級士族の生活は苦しくなり、軍人や警官などに転身できなかった者の中には、( ㉦ )とよばれる不慣れた商売に手を出して失敗する者もあった。

政府の財政は苦しく、1873年から土地と税制に関して( ㉧ )に着手し、財政安定をめざした。また、富国強兵・殖産興業をスローガンとして、産業の育成にも積極的に取り組んだ。まず、工部省・内務省を設けて事業を推進するとともに、多くのいわゆる( ㉨ )をまねいて高額の給金を支払い、技術指導にあたらせた。通信・交通制度では、前島密の建議により、飛脚にかわる官官の( ㉩ )をつくり、1872年には東京(新橋)・横浜間に官官の( ㉪ )を開通させ、また電報をととのえた。貨幣制度では、( ㉫ )を定め、十進法による円・銭・厘を単位とする新硬貨をつくらせ、輸出産業の中心である生糸の生産拡大に力を入れ、群馬県に官官の( ㉬ )を設けて、フランスの先進技術の導入と工女の養成をおこなった。政府は農業・牧畜の改良もすすみ、とくに北海道の開拓に力を入れた。1869年、蝦夷地を北海道と改称して( ㉭ )をおき、アメリカの大農場制度や畜産技術の導入をはかった。札幌農学校を開設するとともに、1874年には士族授産の政策もあって屯田兵制度を設け、開拓とともに北方のロシアに対する備えとした。

政府は、積極的に西洋の近代思想や生活様式などを導入した。この風潮は当時、文明開化とよばれた。( ㉮ )の『学問のすゝめ』は、学がごとく個人が自立し、国家の独立も達成することができることと説き、人びとに広く読まれた。新聞・雑誌による新しい言論活動もさかんになった。森有礼・( ㉯ )・西岡らの洋学者たちは、1873年に( ㉺ )を組織し、封建思想の排除と近代思想の普及につとめた。宗教界でも大きな変動がおこった。新政府はそれまでの神仏習合を禁じる( ㉻ )を出し、これをきっかけに寺院などを破壊する廃仏毀釈が各地でおこった。文明開化の風潮は、東京・横浜などの都市部を中心に急速に広まり、1872年には旧暦を廃して( ㉼ )を採用した。

新政府は開国和親の方針にそって、諸外国との関係を調整するため欧米に使節を派遣した。使節は条約改正交渉をこころみたりが目的を達するこはできず、欧米の文物・制度を視察して帰国した。近隣諸国との外交では、西郷隆盛・板垣退助らが朝鮮に対して( ㉽ )をとるなをたがえ、欧米列強から帰国した大久保利通らは国内の改革を優先するべきだとして反対した。その後、1875年に日本が朝鮮半島沿岸に軍艦を派遣して圧力を加えたことから、紛争となった( ㉾ )がおきた。日本はこの事件を機に、朝鮮に開国

問題ごとに観点別評価項目を表示しているので評価もスムーズ

知識定着の小テストとしても使える

「高校日本史(日探706)」/準拠テスト例

資料を活用した読み解き問題も収録

B問題  
詳説日本史 p.229~231

第11章 近世から近代へ

第1問 つぎの資料と会話文を参考に、問いに答えよ。

【資料1】  
1865年  
輸出 29.9% (茶 10.5%, 絹織物 7.1%, 生糸 12.3%)  
輸入 7.0% (小麦 3.3%, 羊毛 3.7%)

【資料2】  
1865年  
輸出 29.9% (茶 10.5%, 絹織物 7.1%, 生糸 12.3%)  
輸入 7.0% (小麦 3.3%, 羊毛 3.7%)

生徒A: この前の授業でやったグラフについて、教えてくれない?  
生徒B: 日本は開港して、本格的に貿易が始まったよね。資料1から、1865年までのグラフをみた時に輸出と輸入はどちらが多かったかわかるかな。  
生徒A: 【 X 】だよ。でも、国内におよぼした影響がよくわからないんだよね。  
生徒B: 資料2から、輸出品の中心になった【 Y 】ことがわかるよね。あるものが大量輸入されてしまうと、農材には大きな影響が出てしまうね。  
生徒C: それに、【 Z 】が影響して、物価が【 Z 】。これは、あまり効果がなかったけどよね。  
生徒A: まうか、そのために庶民の生活に影響が出てしまったんだね。  
生徒B: そうなんだ、生家事件やイギリス公使館焼打ち事件などが影響の例といえるね。

問1 会話文中の【 X 】～【 Y 】に入る文章の組合せとして、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア X: 輸出超過 Y: 安値な輸出品の生産は拡大した  
イ X: 輸出超過 Y: 生糸の生産は拡大した  
ウ X: 輸入超過 Y: 生糸の生産は拡大した  
エ X: 輸入超過 Y: 安値な輸出品の生産は拡大した

問2 会話文中の【 Z 】に入る文章として、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア 下がったから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね  
イ 上昇したから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね  
ウ 下がったから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね  
エ 上昇したから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね

問3 会話文中の下線部に関して当時の庶民の生活への影響から、国内でどのような動きがみられたか、会話文を参考に30字程度で述べよ。【思考・判断・表現】

「詳説日本史(日探705)」/準拠テスト例

# 11 年間指導計画・評価規準例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 年間指導計画に評価の規準も収録

複数教員で担当しても評価規準を揃えられるので安心

# 12 観点別評価集計表



※こちらのデータは山川出版社ホームページからダウンロードいただけます 授業準備 → 授業 → テスト・評価

**Point** 観点別評価に対応した評価集計ファイル

「観点別評価集計表.xlsx」利用マニュアル  
株式会社 山川出版社

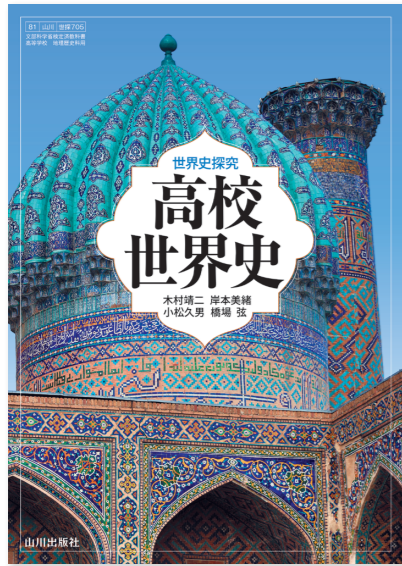
利用マニュアルも収録、はじめての利用でも安心

自動計算で評価を算出、スムーズな観点別評価を実現

弊社HPからダウンロードして今すぐご利用いただけます

ダウンロード

こちらから



- 図版(写真) 529点
- 地図 119点
- グラフ・図表 62点(グラフ24+図25+表13)
- 文字資料 33点
- 二次元コード 22点

# 高校世界史

世探705 B5判(257mm×182mm) 302頁 予価886円

## [編者]

- 木村 靖二 東京大学名誉教授
- 岸本 美緒 お茶の水女子大学名誉教授
- 小松 久男 東京大学名誉教授
- 橋場 弦 東京大学教授

## [著作者]

- 阿部 幸信 中央大学教授
  - 池田 嘉郎 東京大学教授
  - 勝田 俊輔 東京大学教授
  - 島田 竜登 東京大学准教授
  - 林 佳世子 東京外国語大学学長
  - 村上 衛 京都大学教授
  - 小豆畑和之 東京都立西高等学校教諭
  - 仮屋園 巖 東京都立国立高等学校教諭
  - 宮本 英征 玉川大学教授
- 株式会社 山川出版社  
(2024年3月現在)

## message



### 宮本英征

(みやもとひでゆき)

玉川大学教授

「世界史探究」は、世界の歴史の大きな枠組みと展開について理解を深め、地球世界の課題とその展望を歴史的に探究する資質・能力を養うことをねらいとしています。生徒が現代世界の形成とその課題を探究するためには、一人一人の歴史に対する学びの意義や意味、動機が、これまで以上に重要になると思われます。

そのため、『高校世界史』は、生徒が主体となって世界史を学べるように、問いを主体とする構成になっています。各章の最初には「アプローチ」を設け、生徒が問いを表現できるようにになっています。「第I部へのアプローチ」では、生業、身分、宗教、王権などを観点にして史資料を読み解きながら、生徒が興味や疑問をもとに、問いを表現します。また、各章の冒頭には章を貫く問いを設け、その問いを探究するために節・図版・節末の問いを提示しています(→p.86)。第I部の章の問いは、生業、身分、階級、王権、宗教、文化・思想などを観念に、諸地域の歴史的特質の形成を探究できるものです。節・図版の問いは、各地域の歴史的特質の理解を深め、節末の問いは、そこで学んだ歴史的特質を総括・概念化したり、今を生きる生徒に関連付けたりすることができます。

この教科書で、生徒が問いを表現したり、問いにもとづいて本文や図版を考察したりすることで、歴史を探究する面白さを感じ、主体的に歴史に向き合うことの意義や意味を見出してくれることを願っています。



### 小豆畑和之

(あずはたかずゆき)

東京都立西高等学校教諭

学習指導要領には世界史探究の目標として、「資料等を適切に用いて、歴史にかかわる事象について考察、構想したことを効果的に説明する力」を養うことがあげられています。そこで『高校世界史』では、「探究しよう」のページを設け、グラフ・図版・文字資料の読み解きなどのスキル獲得を一つの目標としています。

例えば、第8章の「探究しよう」では、地図と文字資料の組み合わせから、約1000年前の宋の都市である開封を「探究」します(→p.88)。この施設は何だろう、歩いて何分だろう、どんな日常生活だったのだろう、などの問いを導入として、生徒同士で意見交換してほしいと思います。想像図を描いてみようという指示すると、生徒は、建物の大きさや壁の色、行きかう人の服装などについて考察し、自発的に当時の資料を調べます。嗅覚や聴覚についての問いも同様です。歴史の授業では五感を活用することはあまりありませんでしたが、この資料から当時の調理法などに興味を持ってもらえれば、家庭科と協力する教科横断的な授業展開もできます。同様な都市探究には第II部のアプローチ「カイロとウィーン」もあるので、発展学習に利用していただきたいと思います。

その他の「探究しよう」では、「絹織物」「綿織物」や「気候の寒冷化」「科学革命」なども取り上げており、ほかの教科との協力や、SDGsとの関連も意識させることができるかと思っています。

## 基本をおさえて、資料で深める

### 1 要点をおさえた、わかりやすい教科書

- 章立ては『詳説世界史』に準拠しています。
- 『詳説世界史』よりも記述量を7~8割程度におさえ、簡潔で読みやすい表現に改めました。

### 2 「探究」の構造を理解できる、問いを中心とした展開 (→p.86-87)

- 部冒頭の「アプローチ」で、各部の歴史的な特徴や視点を大きく捉えることができます。
- 学習指導要領に沿って、章、節、図版、節末に問いを設定し、問いを主体とした展開のなかで「探究」の学習を進めることができます。

### 3 資料読み解きのスキルが身につく (→p.88-89)

- 図版529点、地図119点、グラフ・表37点、人物コラム83点を掲載しています。(→p.89)
- 「探究しよう」を28点掲載。グラフ、図版、文字資料の読み解きなど、様々なスキルが身につきます。
- 資料を読み解く問いから発展的な問いまで、様々な問いを設定しています。
- 二次元コードを22点掲載しています。(→p.85)

## 関連教材

授業者用指導書「授業実践編」

デジタル  
教師用指導書「授業実践編」付属データ集

教師用指導書「研究編」

準拠ノート  
高校世界史ノート  
B5判 定価935円(10%税込)

授業者用予習・復習に  
補助教材  
山川 詳説世界史図録 第5版  
AB判 定価990円(10%税込)  
高校世界史 基本用語問題集  
ツイズ・マスター  
B5判 定価 990円(10%税込)

デジタル  
指導者用デジタル教科書(教材)

# 目次と配当時間例

章立ては『詳説世界史』に準拠！

世界史Bと世界史探究の構成対照表は →p.72-73 に掲載しています。

巻頭付録として、世界史の大きな流れの把握ができるよう、同時代の地図でそれぞれの時代の特徴を示しています。

世界の自然(表見返し)	
世界史を学ぶみなさんへ	
2世紀の世界	4
8世紀の世界	6
13世紀の世界	8
16世紀の世界	10
19世紀の世界	12
<b>第I部 諸地域の歴史的特質の形成</b>	<b>25</b>
第I部へのアプローチ	26
第1章 文明の成立と古代文明的特質	28
1 文明の誕生	28
2 古代オリエント文明とその周辺	30
3 南アジアの古代文明	35
4 中国の古代文明	37
5 南北アメリカ文明	40
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	42
1 中央ユーラシア	42
2 秦・漢帝国	44
3 北方民族の活動と中国の分裂	47
4 東アジア文化圏の形成	50
第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	55
1 仏教の成立と南アジアの統一国家	55
2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着	58
3 東南アジア世界の形成と展開	60
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	62
1 イラン諸国家の興亡とイラン文明	62
2 ギリシア世界	64
3 ローマと地中海支配	71
4 キリスト教の成立と発展	77
第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	79
1 アラブの大征服とカリフ政権の成立	79
2 ヨーロッパ世界の形成	83
第6章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	174
1 ウィーン体制と政治・社会の変動	174
2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	178
3 アメリカ合衆国の発展	183
4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	187
第7章 アジア諸地域の動揺	190
1 西アジア地域の容変	190
2 南アジア・東南アジアの植民地化	193
3 東アジアの激動	196

各部冒頭の「アプローチ」で、各部の学習の目的を明確化しています。 →p.86-87



<b>第II部 諸地域の交流・再編</b>	<b>91</b>
第II部へのアプローチ	92
第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	94
1 イスラーム教の諸地域への伝播	94
2 西アジアの動向	97
第7章 ヨーロッパ世界の容変と展開	101
1 西ヨーロッパの封建社会	101
2 東ヨーロッパ世界	104
3 西ヨーロッパ世界の容変	107
4 中世文化	112
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	114
1 宋とアジア諸地域の自立化	114
2 モンゴルの大帝国	119
<b>第III部 諸地域の結合・容変</b>	<b>159</b>
第III部へのアプローチ	160
第12章 産業革命と環大西洋革命	162
1 産業革命	162
2 アメリカ合衆国の独立と発展	165
3 フランス革命とナポレオンの支配	168
4 中南米諸国の独立	172
第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	174
1 ウィーン体制と政治・社会の変動	174
2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	178
3 アメリカ合衆国の発展	183
4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	187
第14章 アジア諸地域の動揺	190
1 西アジア地域の容変	190
2 南アジア・東南アジアの植民地化	193
3 東アジアの激動	196
第9章 大交易・大交流の時代	123
1 アジア交易世界の興隆	123
2 ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の容変	128
第10章 アジアの諸帝国の繁栄	132
1 オスマン帝国とサファヴィー朝	132
2 ムガル帝国の興隆	135
3 清代の中国と隣接諸地域	137
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	141
1 ルネサンス	141
2 宗教改革	143
3 主権国家体制の成立	146
4 オランダ・イギリス・フランスの台頭	150
5 北歐・東欧の動向	154
6 科学革命と啓蒙思想	156
第15章 帝国主義とアジアの民族運動	201
1 第2次産業革命と帝国主義	201
2 世界再分割と列強の対立	206
3 アジア諸国の容変と民族運動	209
第16章 第一次世界大戦と社会の容変	216
1 第一次世界大戦とロシア革命	216
2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	220
3 アジア・アフリカ地域の民族運動	226
第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	232
1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	232
2 第二次世界大戦	237
3 新しい国際秩序の形成	242

各章に、資料読み解きのスキルや考察力が身につく「探究しよう」を掲載しました。 →p.88-89

<b>第IV部 地球世界の課題</b>	<b>249</b>
第18章 冷戦と第三世界の台頭	250
1 冷戦の展開	250
2 第三世界の台頭とキューバ危機	254
3 冷戦体制の動揺	257
第19章 冷戦の終結と今日の世界	262
1 産業構造の容変	262
2 冷戦の終結	265
3 今日の世界	270
4 現代文明の諸相	277
地球世界の課題の探究	279
世界史年表	280
索引	288
現代の世界(表見返し)	
探究しよう	
●ハンムラビ法典は何を定めたのだろうか	31
●殷墟はどのような墓なのだろうか	38
●唐の女性はどうな生活をしたのだろうか	54
●ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう	59
●アレクサンドロス大王はどのような人物だったのだろうか	68
●ローマの人々は「コンスタンティヌス帝の旗幟門」を通して何を感したのだろうか	74
●カール大帝が象を手に入れたのはなぜだろうか	87
●イスラーム文化の多様性をモスクから考えてみよう	97
●ヨーロッパ各国で、国王の権威はどのように変化したのだろうか	108
●宋代の開封はどのような都市だったのだろうか	117
●中国製品は、なぜ世界で人気だったのだろうか	126
●アステカ王国をスペインが征服できた原因は何だったのだろうか	131
●オスマン帝国はなぜ繁栄を謳歌できたのだろうか	134
●清はどのように多くの民族を統治したのだろうか	138
●17世紀のヨーロッパは、どのような時代を迎えていたのだろうか	149
●科学革命は、ヨーロッパの人々にどのような影響を与えたのだろうか	157
●産業革命は、人々の暮らしをどのようにかえたのだろうか	164
●自由貿易は、どのような期待が込められていたのだろうか	176
●ヨーロッパ諸国・アメリカ合衆国の工業化はどのように進んだのだろうか	186
●19世紀前半、オスマン帝国はどのような改革をおこなったのだろうか	192
●太平天国とはどのような勢力だったのだろうか	199
●19世紀末、社会主義にどのような変化が生じたのだろうか	204
●「中国」という国名にはどのような意味があるのだろうか	210
●魯迅はどのような覚悟をもって「狂人日記」を書いたのだろうか	226
●ニルンベルク国際軍事裁判では何が裁かれたのだろうか	245
●西側諸国はどのようにして経済の復興と成長を実現したのだろうか	252
●ベトナム戦争は、日本と大韓民国にどのような影響をおよぼしたのだろうか	260
●中東の情勢に、アメリカはどのように関わっていたのだろうか	269

探究活動をより深めるために、二次元コードから、本文に掲載した図版の全体図や部分拡大、追加の図版・文字資料などを参照できるようにしました。

# 1. 要点をおさえた、わかりやすい教科書

# 2. 「探究」の構造を理解できる問いを中心とした展開

## 第I部

### 諸地域の歴史的特質の形成

第I部では、オリエント文明などの古代文明の誕生から東アジアと中央ユーラシアをはじめとする諸地域ごとの歴史の様相や展開について取り扱う。

その際、**生産**、**身分**、**階級**、**王権**、**宗教**、**文化**・**思想**などに着目して考察する。

たとえば王権に着目すると、古代エジプトの王は神権政治をおこない、宗教的な儀式や祭事を取りおこなった。中国の王は戦いを繰り返しながら、集権的な統治の仕組みを整えた。ローマ皇帝は市民たちの支持を獲得する政策を積極的におこない、広大な領域の長期的な支配を可能にした。アッパース朝の君主は、民族の別なくイスラーム教徒の平等を保障し、商業活動を重視することで、国家の繁栄をもたらした。

- 前7000年頃 農耕・牧畜の開始
- 前6000年頃 黄河・長江流域で農耕開始
- 前3000年頃 エジプトに統一国家成立
- 前2700年頃 メソポタミアに都市国家成立
- 前2600年頃 インドス文明の成立
- 前1000年頃 マヤ文明の成立
- 前8世紀頃 キリシアでポリス成立
- 前317年頃 マウリヤ朝成立
- 前334 アレクサンドロス大王の東方遠征開始
- 前221年 秦の中国統一
- 前202年 漢(前漢)建国
- 前27 アウグストゥス、元帝政(帝政)開始
- 395年 ローマ帝国の東西分裂
- 618年 唐建国
- 622年 ムハンマドのヒジュラ
- 750年 アッパース朝成立
- 800年 カール大帝戴冠
- 962年

1333年 1333年 1333年

ツタンカーメン王即位  
古代エジプトの少年王。宗教改革がおこなわれたアメンホテプ4世に即位した。「王座の背」にみえるツタンカーメン王はほぼ完全な形で出土したことにより、広く知られる。

98年 98年 98年

トラヤヌス帝即位  
ローマ帝国の五賢帝の1人(117-118)。みずから兵を率いて遠征を繰り返した。現在のルーマニアまで進出し、ローマ帝国の最大領域を実現した。

786年 786年 786年

ハールーン・アッラシード即位  
イスラーム教徒の平等を確立したアッパース朝最盛期のカリフ。バグダードの繁栄をもたらした(11-12)。

各部の扉は、その部の概観と学習の視点を示し、「部へのアプローチ」と関連させた年表や図版を取り上げています。

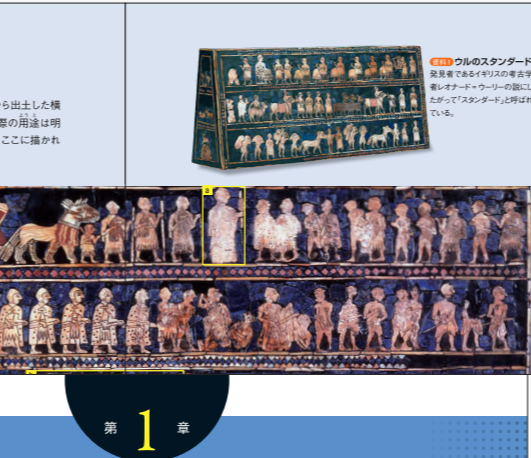
古代の諸地域において活動した人々の特色をあげてみよう

資料は紀元前2600年頃のシュメールの古代都市ウル(現在のイラクにある)の道跡から出土した横長の箱である。「スタンダード(Standard, 標準・筆蹟)」と呼ばれているが、その実際の用途は明らかになっていない。スタンダードには、様々な人物のモザイクがほどこされている。ここに描かれた人々の特色から、古代の社会や暮らしについて考えてみよう。

### 第I部へのアプローチ

戦争の場面  
右の場面は下段から中段、上段へと時間の流れを追っていくように構成されている。下段は四頭立ての四輪戦車が描かれている。戦車を牽いている動物は馬ではなく、半ロバ(オナガー)である可能性が高い。左端の半ロバは並足だが、右へ行くほど前足が上がっていることから、1台の戦車が1日に速度を増していく様子も考えられている。中段には兵士たちが描かれている。左側の兵士は盾をかぶりマントを身につけているが、右側の兵士たちは身なりはどうだろうか。中段の兵士は身なりはどうだろうか。上段の兵士は、右側からやってくる人物

平和の場面  
右の場面は「戦争の場面」に勝利したあとの「祝賀の場面」や「宴の場面」といわれる。入れた袋などが運ばれている。中段に描かれている。右端の2人で手を組む姿は勝利のしるしを行列を導くような人物が運ばれているのだろうか。わたくしは描かれ立派な腰巻を身につけて座る6人の男性が杯を手にし



## 第1章 文明の成立と古代文明の特質

世界各地で、自然環境にもとづいて多様な古代文明が成立し、そのもとでは王などの権力者を中心とする社会や文化も形成された。古代文明において、王は人々にとってどのような存在であったのだろうか。

### 1 文明の誕生

各地で始まった農耕と牧畜は、人々の暮らしをどのようにかえたのだろうか。

農耕と牧畜のはじまり  
約1万年前に氷期が終わると地球は温暖化し、自然環境が大きく変化したため、新人は地域ごとの多様な環境に適応していった。そのなかでもっとも重要だったできごとは、約9000年前の西アジアで、麦の栽培とヤギ・羊・牛などの飼育が始まったことであった。これが**農耕**・**牧畜**の開始である。これにより人類は積極的に自然環境を改変する能力を身につけ、食料を生産する生活を営みはじめた。人類史は、狩猟・採集を中心とした**獲得経済**から、農耕・牧畜による**生産経済**に移るといふ重大な変革をとげたのである。その結果、人口は飛躍的に増え、文明成立の基礎が築かれた。

農耕・牧畜が始まると、人類は集落に住み、**織物**や**土器**をつくり、また石斧・石臼などの**磨製石器**を用いた。**新石器時代**の始まりである。このような初期農耕民の新石器文化は、アジア・ヨーロッパ時代に入っていった。

『詳説世界史』の章立てに準拠し、簡潔で読みやすい表現に改めました。

3 磨製石器 磨石を使って表面を滑らした石器。研磨の技術は新石器時代の農耕開始とともに発達し、石斧・石臼などが製作・使用された。

4 農耕をおこなう男女 牡牛に牽かれて土地を耕す男性と、その後について種をまく女性。前1200年頃のエジプトの壁画。

生徒自身で問いを表現する「アプローチ」

第I部～第III部の冒頭に、各部の学習の目的を明確化する「**第○部へのアプローチ**」を設けました。各部を貫く視点の一例として、第I部では王権や身分・階級、第II部では都市の発達や交易の拡大、第III部では交通の発達や人々の国際的な移動について取り上げました。**著者message**もご覧ください。→p.82

問いを主体とした展開 1

章の冒頭に、**章全体の学習内容をまとめた概観**と、それを理解するための**ヒント**として「**問い**」を設けています。

問いを主体とした展開 3

本文の理解を深めるために、**図版**などの資料にも「**問い**」を付けています。

1 彩文土器 表面に彩文を施した土器を彩文土器という。貯蔵やビール・ワインなどの通器として用いられたが、極端に古くは向学から徐々に右のように動物も描かれるようになっていった。

2 なぜ文明学が学問として成立したのか、動物も描かれるようになっていったのだろうか。考えてみよう。

文明の成立

初期の農耕は雨水だけに頼り、また肥料を用いない方法によっていたため、収穫が少なく、耕地もかえりかなくてはならなかった。しかし、メソポタミア(ほぼ現在のイラクにあたる)をはじめとする地域で**灌漑農業**が始まると食料の生産力は高まり、余裕が生まれるにつれて**貧富の差の拡大**や**仕事の分業化**が進んだ。こうして**権力者が多くの人々を統一的に支配する国家**という仕組みが生まれた。ナイル川、ティグリス川・ユーフラテス川、インドス川、黄河・長江の各流域には**高度な文明**が誕生し、やがて**アメリカ大陸**にも独自の文明が形成された。こうした文明においては、**宗教**や**交易**の中心である**都市**が生まれた。武器や工具などの**金属器**がつけられ、また多くの文明では**政治**や**商業**の記録を残すための**文字**が発明された。ここから人類史は、**文字**の発明によって**歴史時代**に入っていく。

1 文明の誕生は人々の関係をどのようにかえたのだろうか。

1 文明の誕生 29

おもな古代文明とその通器

第1部は**身分・王権**について取り上げています。

問いを主体とした展開 2

節冒頭に「**問い**」を設け、その節の**学習目的**を明確化しています。

図版に番号を付け、関連する本文にも番号を付けました。

問いを主体とした展開 4

節末の「**問い**」は、その節のまとめや、さらに生徒に考えさせる**発展的な内容**にしています。

〈そのほかの問いの例〉

3 あなたは、人々を支配するものもつくったローマ帝国の仕組みは何だったと思うか。

4 隋・唐の繁栄は、どのような人々によって支えられていたのだろうか。あなたがもっとも重要だと考える人々の働きについて、説明してみよう。

「アプローチ」の取り組み方や、問いの解答例は『**教師用指導書「授業実践編**』に掲載しています。

# 3. 資料読み解きのスキルが身につく

- 「探究しよう」は本文の記述をさらに深め、生徒の想像力や考察力を養うテーマを取り上げました。
- 各章に1~2つの「探究しよう」を掲載し、**文字資料・図版・地図・グラフ**など、多角的な資料を取り上げています。資料を読み解く問いから、生徒自身が考察する発展的な問いまで、様々な問いを設定しています。
- 発展的な問い**については、グループで意見交換し、興味・関心を高めることができるよう工夫しました。
- 『**教師用指導書「授業実践編」**』では、「探究しよう」で取り上げている資料や、その意図問いの解答例について解説しています。

**探究しよう** 宋代の開封はどのような都だったのだろうか

開封は黄河と大運河の合流地点に位置する都市であり、華北の交易の要衝として栄えた。

文字資料と地図を組み合わせた読み解きができるように工夫しました。

私は**国子監**で学ぶ者である。今日は私の暮らす開封の街を皆さんに紹介したい。

開封の街は三重の城壁からできており、4本の**運河**が流れている。正店とは庭園をもつ高級酒楼のことで、開封にはそのような店が数多くある。瓦市とは盛り場のことである。

国子監からまっすぐ北上すると**竜津橋**に渡る。竜津橋から州橋にかけては、夏には胡麻豆腐、砂糖をまぶしたかき氷、ボケの実エキスのジュース、緑豆の砂糖漬け、甘草で甘味をつけた氷水などが売られている。これらの店は午前零時頃まで商売をしている。

**朱雀門**は、宋の第2代太宗の太平興国4(979)年、改名された。この年、皇帝は北漢を併合し天下統一を果たしたが、遂に敗れ**燕雲十六州**の奪還に失敗した年である。

**州橋**とその東の**相国寺橋**は、大型船が通過できない平橋であったため、汴河をさかのぼってきた物資は相国寺橋より東側で荷下ろしされた。朱雀門を入ると大相国寺がみえる。大相国寺は開封最大の仏教寺院であり、皇帝の**行幸**も頻繁におこなわれた。

相国寺の境内では、毎月5回民衆の市場が開かれる。変わった動物や日用品など、様々なものが売られている。さらに地方から帰任した官僚が持参した各地の産物も出品されている。その裏側には古い師や不思議な術を見せる者もいて、賑わっている。

州橋を渡った御街の幅は約300mにおよぶもので、様々な儀礼がおこなわれた。

まっすぐ進むと宮城の**宣徳門**に至る。東華門の街路は**東華門街**と呼ばれ、開封で1、2を争うにぎわいである。東華門は、官僚が出入りする通用門であり、宮中への**参内**の門として使われていた。

宣徳門には**羊の頭**の市がすまじ、**馬行**の市も盛況である。大相国寺の境内には、**馬行**の市も盛況である。大相国寺の境内には、**馬行**の市も盛況である。

相国寺の境内では、毎月5回民衆の市場が開かれる。変わった動物や日用品など、様々なものが売られている。さらに地方から帰任した官僚が持参した各地の産物も出品されている。

Q1 文中の太字を地図上でたどって、その区域・施設の特徴を確認しよう。

Q2 文中の下線部の語句を、辞典やインターネットを利用して調べてみよう。

Q3 文中の波線部について、以下のことをインターネットや文献を使って調べてみよう。

国子監：どのような施設だろうか。

燕雲十六州：この土地の重要性は何だろうか。

官僚：宋代の官僚の社会的地位とはどのようなものだろうか。

金銀交易所：宋代はどのような通貨が利用されていたのだろうか。

Q4 「清明上河図」などを参照して、開封の街の想像図を描いてみよう。その際、説明文に、匂いや音なども想像して記入してみよう。

Q5 「東京夢華録」を読み、当時の人々の生活をより深く探究してみよう。

準拠ノートではワークシート形式にしています。

生徒の探究心を高めるよう、嗅覚や聴覚についての問いを設けました。著者messageもご覧ください。→p.82

### 家族の歴史

「家族」とは何か、と問われたら、多くの人々が「血縁による絆」「家族をつなぐ情愛」を連想し、時代や地域が異なってもかわらないものがあるのではないだろうか。しかし、はたしてそれは本当に家族の本質だろうか。18世紀半ば頃まで、ヨーロッパでの乳児死亡率は非難げに考えられる。また、農村では一般的だったが、都市では生まれつき、乳母に任せる慣習があった。これに対して啓蒙思想家たちは、もの育に深く関わるべきであるとする道徳的義務と責任がある。

「世界史へのまなざし」は、**自然環境と人類の歴史や日常生活にみられる諸事象と世界の歴史を取り上げ、現在と過去のつながりについて考察し理解することをねらい**としています。ジェンダーについても取り上げ、関連する資料を多く掲載しています。著者messageもご覧ください。→p.83

22 世界史へのまなざし 日常生活から見る世界の歴史

24 世界史へのまなざし 日常生活から見る世界の歴史

イギリスの労働エマ・ワトソンの編纂でのスピーチ(2014年)

研究者が占める女性の割合の国際比較(2018年)

Q1 資料3~7を参考に、現代の日本とほかの国々における家族のなかの女性の役割を比較してみよう。また、テーマを設定して関連する資料を調査し、まとめてみよう。

Q2 今日、様々な家族像が描かれるが、なぜ家族のあり方を問題として取り上げる必要があるのかを考えてみよう。

3 「疑わしい友人」(「PUNCH」1939年9月27日) 独ソ不可侵条約は、独ソ両国間のポーランドの分割と、東ヨーロッパでのそれぞれの勢力圏を定めた秘密協定書が付属していた。

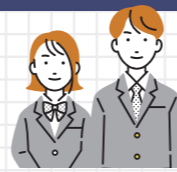
4 アメリカの太平洋進出の風刺画(1900年) 「Judge Magazine」武器や資材を担いだアメリカが、フィリピンを踏み台にして中国へ渡ろうとしている。

8 ソ連工業の推移(鉄鉱石生産量)

9 東インド向けヨーロッパ(船)の数(隻)

17世紀後半から18世紀後半にかけて、各国の海運力はどのように変化したのだろうか。その背景も考えてみよう。





# 日本史探究 補助教材

教科書に準拠した  
生徒用教材をご紹介します

## わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート

歴 709

B5判/144頁+解答16頁/4色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-05808-8

**Point**

教科書の内容を短い文章でまとめ、各テーマの基本的な用語を確認  
テーマの問いについて順を追って考えていく、わかりやすい構成

各テーマの基本的な  
用語を穴埋め問題で  
確認

**帝国主義**

①～③に入る適切な語句を答えよう。

**第2次産業革命と帝国主義**

① 産業革命は、19世紀中頃から( ① )や電力を新しい動力源とするようになり、世界の諸国によって( ② )競争を激化させた。②が促進するに高度な技術と資本( ③ )を必要としたため、企業は( ④ )との関係を深めた。また、国民は、( ⑤ )として重要視された。

② 列強は、ヨーロッパ世界の覇権を争った。世界を自分の領土・勢力範囲として分割していった。このような動きを( ⑥ )という。

③ 列強が争った過程で、20世紀初頭には、イギリス・フランス・ロシアによる( ⑦ )とドイツ・オーストリア・イタリアによる( ⑧ )という2つの対立関係が形成された。

**アフリカと太平洋地域**

④ 19世紀に世界分割がおこなわれたのは、アフリカと太平洋地域であった。

⑤ アフリカでは、1884～85年に開催された( ⑨ )会議で、急遽に分割された。太平洋地域では、イギリス( ⑩ )やニュージーランドで宗主権を主張しつつ関係を進めた。また、アメリカは、1898年に( ⑪ )を併合した。

**中国における列強争い**

⑥ 日清戦争後、列強は利権獲得のために中国に進出した。ロシアは遼東半島( ⑫ )の租借権を獲得し、1898年には遼東半島南部に租借する( ⑬ )の両都市を併合した。またドイツも山東半島( ⑭ )を獲得した。

⑦ 清は、日本の明治維新にならって政治の近代化をはかろうとする( ⑮ )が試みられたが、反勢力のクーデタにより失敗した。

⑧ 列強の進出は、人々の苦悶を招いた。( ⑯ )を台座とする( ⑰ )は、1900年に北京に入り列強部隊を押し入れ、清をこれを利用して列強を排除しようとした。

⑨ 清の弱体化後、列強は中国への干渉をいっそう強めた。

テーマの問いについて、  
順を追って考える構成

## 詳説日本史 ノート

日探 705

B5判/256頁+解答20頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-02231-7

**Point**

自学自習用の書きこみ式ノート、教科書の内容を穴埋め形式で整理  
史料の要点をおさえる「史料チェック」や理解と考察を深める「探究コーナー」も配置

「史料チェック」は  
教科書掲載史料を  
中心にピックアップ

**院政と武士の躍進**

**日本の大化改新**

1 官制の改定

(1) 新羅を打ち倒す前、新羅人と大化による新羅人化

(2) 地方官が、新羅・大化の改革から私兵を拡大

(3) 645年(乙未)に、大化改新が実施された

2 大化改新の目的

(1) 大化改新の目的は、新羅人化による新羅化を防止し、新羅人化を阻止することである

(2) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(3) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(4) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(5) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(6) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(7) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(8) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(9) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(10) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(11) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(12) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(13) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(14) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(15) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(16) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(17) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(18) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(19) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(20) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(21) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(22) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(23) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(24) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(25) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(26) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(27) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(28) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(29) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(30) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(31) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(32) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(33) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(34) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(35) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(36) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(37) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(38) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(39) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(40) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(41) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(42) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(43) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(44) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(45) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(46) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(47) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(48) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(49) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

(50) 大化改新の目的は、新羅人化を防止することである

教科書に掲載の問い(Q)や  
「読みといてみよう」、章の  
まとめに対応した解答欄も  
配置

教科書の内容をわかりやすく  
まとめ、重要語句は穴埋め形  
式で確認

自由に使えるノート欄も

## 歴史総合資料集

AB判/56頁+解答24頁/4色刷/定価440円(10%税込)/商品番号05804

**Point**

「歴史総合」を40のテーマに分け、地図やグラフ・文字資料を中心に厳選した資料で構成  
すべての資料に問いを付し、円滑な授業の進行をサポートします

**中国の開港と日本の開国**

清の開港と日本の開港によって、東アジアはどのように変わったのだろうか？

**アヘン戦争とその影響**

1840年 第一次アヘン戦争(中国)開始

1842年 南京条約(中国)締結

1849年 第二次アヘン戦争(中国)開始

1858年 天津条約(中国)締結

1860年 北京条約(中国)締結

1868年 幕府滅亡(日本)

1869年 明治維新(日本)

1871年 日清和親条約(日本)

1873年 神武天皇御紀元2600年(日本)

1875年 日清和親条約(日本)

1876年 日清和親条約(日本)

1877年 日清和親条約(日本)

1878年 日清和親条約(日本)

1879年 日清和親条約(日本)

1880年 日清和親条約(日本)

1881年 日清和親条約(日本)

1882年 日清和親条約(日本)

1883年 日清和親条約(日本)

1884年 日清和親条約(日本)

1885年 日清和親条約(日本)

1886年 日清和親条約(日本)

1887年 日清和親条約(日本)

1888年 日清和親条約(日本)

1889年 日清和親条約(日本)

1890年 日清和親条約(日本)

1891年 日清和親条約(日本)

1892年 日清和親条約(日本)

1893年 日清和親条約(日本)

1894年 日清和親条約(日本)

1895年 日清和親条約(日本)

1896年 日清和親条約(日本)

1897年 日清和親条約(日本)

1898年 日清和親条約(日本)

1899年 日清和親条約(日本)

1900年 日清和親条約(日本)

1901年 日清和親条約(日本)

1902年 日清和親条約(日本)

1903年 日清和親条約(日本)

1904年 日清和親条約(日本)

1905年 日清和親条約(日本)

1906年 日清和親条約(日本)

1907年 日清和親条約(日本)

1908年 日清和親条約(日本)

1909年 日清和親条約(日本)

1910年 日清和親条約(日本)

1911年 日清和親条約(日本)

1912年 日清和親条約(日本)

1913年 日清和親条約(日本)

1914年 日清和親条約(日本)

1915年 日清和親条約(日本)

1916年 日清和親条約(日本)

1917年 日清和親条約(日本)

1918年 日清和親条約(日本)

1919年 日清和親条約(日本)

1920年 日清和親条約(日本)

1921年 日清和親条約(日本)

1922年 日清和親条約(日本)

1923年 日清和親条約(日本)

1924年 日清和親条約(日本)

1925年 日清和親条約(日本)

1926年 日清和親条約(日本)

1927年 日清和親条約(日本)

1928年 日清和親条約(日本)

1929年 日清和親条約(日本)

1930年 日清和親条約(日本)

1931年 日清和親条約(日本)

1932年 日清和親条約(日本)

1933年 日清和親条約(日本)

1934年 日清和親条約(日本)

1935年 日清和親条約(日本)

1936年 日清和親条約(日本)

1937年 日清和親条約(日本)

1938年 日清和親条約(日本)

1939年 日清和親条約(日本)

1940年 日清和親条約(日本)

1941年 日清和親条約(日本)

1942年 日清和親条約(日本)

1943年 日清和親条約(日本)

1944年 日清和親条約(日本)

1945年 日清和親条約(日本)

1946年 日清和親条約(日本)

1947年 日清和親条約(日本)

1948年 日清和親条約(日本)

1949年 日清和親条約(日本)

1950年 日清和親条約(日本)

1951年 日清和親条約(日本)

1952年 日清和親条約(日本)

1953年 日清和親条約(日本)

1954年 日清和親条約(日本)

1955年 日清和親条約(日本)

1956年 日清和親条約(日本)

1957年 日清和親条約(日本)

1958年 日清和親条約(日本)

1959年 日清和親条約(日本)

1960年 日清和親条約(日本)

1961年 日清和親条約(日本)

1962年 日清和親条約(日本)

1963年 日清和親条約(日本)

1964年 日清和親条約(日本)

1965年 日清和親条約(日本)

1966年 日清和親条約(日本)

1967年 日清和親条約(日本)

1968年 日清和親条約(日本)

1969年 日清和親条約(日本)

1970年 日清和親条約(日本)

1971年 日清和親条約(日本)

1972年 日清和親条約(日本)

1973年 日清和親条約(日本)

1974年 日清和親条約(日本)

1975年 日清和親条約(日本)

1976年 日清和親条約(日本)

1977年 日清和親条約(日本)

1978年 日清和親条約(日本)

1979年 日清和親条約(日本)

1980年 日清和親条約(日本)

1981年 日清和親条約(日本)

1982年 日清和親条約(日本)

1983年 日清和親条約(日本)

1984年 日清和親条約(日本)

1985年 日清和親条約(日本)

1986年 日清和親条約(日本)

1987年 日清和親条約(日本)

1988年 日清和親条約(日本)

1989年 日清和親条約(日本)

1990年 日清和親条約(日本)

1991年 日清和親条約(日本)

1992年 日清和親条約(日本)

1993年 日清和親条約(日本)

1994年 日清和親条約(日本)

1995年 日清和親条約(日本)

1996年 日清和親条約(日本)

1997年 日清和親条約(日本)

1998年 日清和親条約(日本)

1999年 日清和親条約(日本)

2000年 日清和親条約(日本)

2001年 日清和親条約(日本)

2002年 日清和親条約(日本)

2003年 日清和親条約(日本)

2004年 日清和親条約(日本)

2005年 日清和親条約(日本)

2006年 日清和親条約(日本)

2007年 日清和親条約(日本)

2008年 日清和親条約(日本)

2009年 日清和親条約(日本)

2010年 日清和親条約(日本)

2011年 日清和親条約(日本)

2012年 日清和親条約(日本)

2013年 日清和親条約(日本)

2014年 日清和親条約(日本)

2015年 日清和親条約(日本)

2016年 日清和親条約(日本)

2017年 日清和親条約(日本)

2018年 日清和親条約(日本)

2019年 日清和親条約(日本)

2020年 日清和親条約(日本)

2021年 日清和親条約(日本)

2022年 日清和親条約(日本)

2023年 日清和親条約(日本)

2024年 日清和親条約(日本)

2025年 日清和親条約(日本)

地図・グラフ・  
文字資料を  
バランスよく  
構成

文字資料は読み  
やすい口語訳

適宜年表を配置し、  
同時代の世界と日本  
を比較して確認

## 詳説日本史 授業用整理ノート

日探 705

B5判/248頁+解答32頁/2色刷/定価946円(10%税込)/ISBN978-4-634-02232-4

**Point**

授業用の書きこみ式ノート、様々な授業スタイルに対応するシンプルな構成  
左ページでは思考のベースとなる知識を確認、右ページで教科書掲載の問いに取り組みます

**日本文化のあけぼの**

**文化の始まり**

**日本人の誕生と進化**

1 縄文時代

2 弥生時代

3 古墳時代

4 飛鳥時代

5 奈良時代

6 平安時代

7 鎌倉時代

8 室町時代

9 安土桃井時代

10 徳川時代

11 江戸時代

12 幕末

13 明治時代

14 大正時代

15 昭和時代

16 平成時代

17 令和時代

教科書に掲載の問い(Q)や  
「読みといてみよう」、章の  
まとめに対応した解答欄も  
配置

教科書の内容をわかりやすく  
まとめ、重要語句は穴埋め形  
式で確認

自由に使えるノート欄も

準拠  
教材



# 山川 詳説日本史図録 第10版

日探 705

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-02531-8

## Point

教科書の章・節・小見出しに沿った構成  
資料を読む視点として、見開きごとにページの下にQ&Aを配置

**214 公武合体と尊皇運動①、幕府の滅亡**

**215 戊辰戦争と新政府の発足**

教科書には掲載していないものを中心に、写真約2500点、図版約1200点を収録

項目のまとめとして、ページの冒頭に年表や模式図を示しています

見開きごとにページの下にQ&Aを配置

教科書には掲載していないものを中心に、写真約2500点、図版約1200点を収録

見開き形式で100点になるよう構成しています

地図や写真、史料、図などを用いた問題も多く収録しています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



# 詳説日本史 10分間テスト

日探 705

A5判/164頁+解答24頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-02241-6

## Point

教科書の内容を79のテーマに分け、各テーマの基本事項を20問の一問一答形式で確認  
右ページの「補充・復習」は、知識を充実させるための追加問題や地図・表形式の関連問題で構成

左ページの「10分間テスト」で、基本的な知識を短時間で確認

各問題にチェック欄を設け、繰り返し学習を促します

「補充・復習」では、追加の関連問題で知識をさらに充実



# 詳説日本史 スタンダードテスト

日探 705

B5判/136頁+解答24頁/2色刷/定価825円(10%税込)/ISBN978-4-634-02242-3

## Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集  
教科書の流れに沿った見開き1テーマ構成で、授業との併用や自学自習に最適

**10 徳川政治**

10-11世紀の東アジアに関する地図をみて、下記の設問に答えよ。

10-11世紀の東アジアに関する地図をみて、下記の設問に答えよ。

見開き形式で100点になるよう構成しています

地図や写真、史料、図などを用いた問題も多く収録しています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



# 書きこみ教科書 詳説日本史

日探 705

A5判/368頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-01221-9

## Point

教科書の文章を読み進めながら空欄に重要用語を書きこむ学習参考書  
必要に応じて整理欄を設け、文学作品・美術作品の一覧表や写真も掲載

教科書の注は本文に組み込みました

解答欄は書きこみやすい大き目で、字数分の下線付き

必要に応じて整理欄を設けています

準拠教材

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません







# 山川 詳説世界史図録 第5版

世探 704

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-04515-6

## Point

巻頭の「同時代の世界」で時間軸と空間軸を整理  
文字資料の点数を増やし、各資料に読み解く視点を示す問いをつけています

### 38 南アジアの古代文明

#### 1 古代文明の成立

メソポタミア文明、エジプト文明、インド文明の成立と発展。南アジアの地理的特徴と気候の多様性。

#### 2 南アジアの風土と人々

南アジアの地理的特徴と気候の多様性。主要な民族と文化の形成。

#### 3 アーリア人の進出と社会制度

インド・ヨーロッパ系言語の起源とアーリア人の進出。ヴェーダの成立とカースト制度の形成。

#### 4 インドス文明の形成

インドス文明の遺跡と特徴。都市計画と排水システム。文字の発見と歴史学への貢献。

地域と時代のインデックスを追加、学習範囲がわかりやすい

単元全体やポイントを整り・図式化した「まとめ」を設定

A問題、B問題それぞれの得点欄を設け、「思考力・判断力・表現力」を問うB問題は解答欄に\*を付けています

時代スケールを追加し、「いつ、どこで」を常に意識できるように該当する時代を赤く表示

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



# 詳説世界史 スタンダードテスト

世探 704

B5判/152頁+解答32頁/2色刷/定価935円(10%税込)/ISBN978-4-634-03222-4

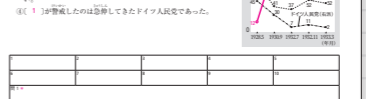
## Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集  
「知識・技能」を働かせて解くA問題と「思考力・判断力・表現力」を働かせるB問題で構成

### 60 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊

第一次世界大戦後の国際情勢とヴェルサイユ条約の成立。世界恐慌の発生とその影響。ナチスドイツの台頭と第二次世界大戦の勃発。

年	出来事
1918	第一次世界大戦の終結
1919	ヴェルサイユ条約の締結
1929	世界恐慌の発生
1933	ナチスドイツの台頭
1939	第二次世界大戦の勃発



時代スケールを追加し、「いつ、どこで」を常に意識できるように該当する時代を赤く表示

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



# 詳説世界史10分間テスト

世探 704

A5判/168頁+解答32頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-04131-8

## Point

教科書の内容を81テーマに分け、各テーマ見開き2頁でまとめたテスト集  
探究的学習の前提となる知識をコンパクトに整理

### 2 文明の成立と古代文明の特質(2)

メソポタミア文明、エジプト文明、インド文明の成立と発展。南アジアの地理的特徴と気候の多様性。

#### 「advanced」では発展問題や理解を深める問題を取り上げ、さらなる知識の定着をはかります

#### 「exercise」では図や表、地図を用いた問題に取り組みます

左ページの「10分間テスト」で約20個の基本的な用語をおさえます

地図問題を充実させ、2色刷で大きく掲載

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



# 書きこみ教科書 詳説世界史

世探 704

A5判/336頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-03221-7

## Point

教科書の文章を読みすすめるながら、空欄に重要用語を書きこむ学習参考書  
地図問題を充実させ、教科書中の歴史史料も適宜取り上げています

### 12 産業革命と環大西洋革命

産業革命の発生とその影響。環大西洋革命の経緯と意義。世界貿易の拡大と国際関係の形成。

解答欄は字数分を下線にして書きこみやすくしています

地図問題を充実させ、2色刷で大きく掲載

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません

